

ちえすなっとミニレター

IGAGURI

Vol. ②

2021.4.1

イ ガ グ リ



4月から、

定休日と営業時間を変更することとなりました。定休日を月・火から日・月へ、閉店時間を18時半から17時へ変更しました。理由は息子と家族の時間の確保です。ちえすなっとは夫婦で営んでいるお店で、先月1周年を迎えました。私たちには今4才の息子がいますが、日曜日お店を開けることも、「なんとかなるだろう」「なんとかしよう」と思っの昨年のスタートでした。結果なんとかはなりましたが、いつもギリギリの生活でした。

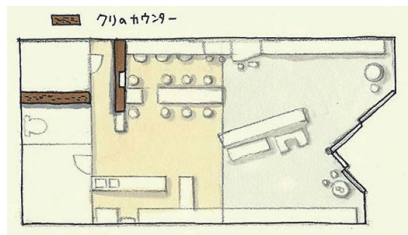
子どもは親に見て欲しい、わかって欲しい。子育て中は余裕たっぷりな状態であることが、親の一番の仕事だと考え改める1年となりました。どうすれば元気いっぱい子どもと向き合えるのか。先月から実験的に家では仕事も仕事の話も辞めてみることにしました。それまではお店のことを家に帰ってから話し合ったり、夜も子どもを寝かせた後に急かされるようにPCを開いたり。子どもの目の前ではやっていなくても、気持ちが仕事に向いていると、子どもと接する時に上の空になってしまったり、小さな言動にいらついてしまったり。「家で仕事をしない」たったそれだけのことですが、実行してみると驚くほど子どもと落ち着いた時間を過ごすことができたのです。そして仕事をする時間は減ったはずなのに、その分お店での時間が濃く豊かになり、お店までよい方向へ変化していている実感がありました。

4月からは日曜日を休みにして時短とし、お店の時間は夫婦2人で仕事に全力集中。それ以外は家族の時間にすばっと切り替える。

心機一転して、お店の時間と家族の時間、どちらも大切に過ごしていきたいと思っています。



ちえすなっとの はなし その2



栗の木あります

「ちえすなっ」とは英語で「栗」という意味。広葉樹のクリの木材は堅くて重いため、家具や床柱、床材などに多く使用されています。ちえすなっの店内にもクリを使っているところが2箇所あります。トイレと洗面台のカウンターは無垢のクリの木です。深みのある色合いに個性的な木目が特徴です。

「夫婦でお店をやろうと思ったきっかけは？」と聞かれる事があります。

答えとしては「奥さんが一緒にやろう」と言ってくれたからです。

なんだか気恥ずかしくもありますが、興味を持ってくれたことを嬉しく思える瞬間です。

ちえすなつとを始める前はスポーツ用品店のアウトドアコーナーで登山用品を販売する仕事をしていました。それまではお客さんへ物を売るという経験はありませんでした。未経験だけにやはり苦労はありましたが、好きな登山を仕事にしたので、楽しかった思い出の方が苦労よりも上回っているように思います。ズブの素人を雇ってくれた店長さんには今でも感謝をしています。

働いていたお店はゴリゴリの登山ショップではなく、一般的な登山なら装備一式は十分に揃えられるくらいのお店でした。なので買い物に来るお客さんは、なんとなく登山の事を見たか聞いたかぐらいの方が、昔やっていたがまた始めたいと言う方が多く来られます。そうなると、準備すべき装備や商品の機能だけでなく、聞かれてもいない登山の豆知識的な事も嬉しげにいろいろと説明してしまいます。マニアックすぎてデートの時にそんな話をしようものなら確実に嫌われてしまいますが、お客さん自身も登山に興味があつての来店なので、そんなマニアックな話でも目の色を輝かせてくれます。

そんなこんなで仕事の結果も出始めた頃、ちえすなつと立ち上げの話を奥さんから聞きました。悩む所ではありましたが話を聞いているうちに人生を賭けてやりたいのだなと感じました。自身の育児経験を元に、育児を頑張るお母さんがホッと出来る場を作りたいのだなと思いました。

奥さんの理解があつたからこそ、僕はまったく経験のない所への転職をし、好きな登山を仕事に出来ました。そして楽しい思いをいっぱいしました。

次は奥さんが楽しい思いをする番であり、僕も一緒にちえすなつとをやってみようと思いました。





ニ

「8をみつけて」



数字の魅力に取り憑かれている4才の息子。「1+1は？」からはじまり、「20+20は？」「75+32は？」とひたすら足し算の問題を出し続けてきます。困ったことに少しずつその答えをインプットしているようなので、いい加減に答えるわけにいかず、頭の休まらない毎日です。

そんな数字好きの子にオススメの「14ひきのねずみ」シリーズ。8番目のねずみのはっくんが「8」と書いた服を時々着ているのをご存知ですか？「また8やー！」と発見する喜びと共に数字への興味をさらに高めている息子。本によって8の服を着ていたり、いなかったりという気まぐれさも子ども心にくすぐります。

数字を知り始めた頃の子どもは周りのものすべてを数えます。世の中のあれもこれも数に置き換えられることに気づいてから、世界は違って見えているのでしょうか。算数で嫌いになるなんてもったいないくらい、数字ってとても魅力的だったのです。

あとがき

クイズだれのぼうし？は、全くわかりませんでした。



丹治悠

息子が引き算を知らなくてよかったですとほっとする日々です。



丹治未来

クイズ" だれのぼうし？



1.ぐり



2.ぐら



3.ごうくん



4.よっちゃん



A



B



C



D

「古絵本とコーヒーのお店 ちえすなつと」は、夫婦で営む絵本屋です。この冊子は、ちえすなつとの2人が絵本のことやお店のこと、はたまた日常のささいなことまでを、手紙をだすように綴った月刊誌です。

ちえすなつとミニレター
IGAGURI 第2号

発行者 ちえすなつと
発行日 2021年4月1日

古絵本とコーヒーのお店 ちえすなつと

OPEN 10:30-17:00

CLOSE 日・月

*定休日(日・月)以外の祝日はOPEN

〒561-0883 大阪府豊中市岡町南 1-6-13-101

阪急宝塚線「岡町駅」徒歩5分

www.chestnut2020.com



→答えは中のページ

4月1日から定休日と営業時間が変わりました